立教大學新聞

月刊毎月拾五日發行
編輯印刷兼發行人　矢澤賢一
發行所　東京池袋　立教大學新聞學會
電大塚四〇四
振替東京七〇八六三
定價一部　金五錢
一年分　金六拾錢
廣告一行　金五十錢
場所指定　二割増

今や白熱化した就職戰鳥瞰圖
春！それがなんだ！と……不安に戰く新學士

涯しなく極みなき就職難時代！　はたして現代人はこの就職難時代よりいつ解放されるのか？　だれもが首鶴のやうな首で待わびてゐる景氣快復即ち好景氣時代はいつくるのか？　それこそ知る者ぞ知るのだ、又しても我々學生ことに三月大學六年の生活を終へて芽出度く巣立ち行く本學百數十名の新學士にとつては特に憂うつな就職難時代ではある、もちろん新學士の間には就職戰線の勝利者も若干名あるにはある、だが大部分はほゝゑみ迎へて呉れる春の陽光もなんのそのパンのために血眼で東奔西走日に夜をついで知人、先輩の玄關から玄關へと驅けめぐつてゐる、或は又學生人事課の推薦状を片手に威嚇的なビルデング—會社、銀行等の鐵の扉をたゝく、がはたして扉はやすやすと開かれるだろうか勝利と敗北、悲喜交々なるこの就職戰の異狀ある就職戰線を鳥瞰する

經濟學部
不幸中の幸かぼつぼつ決る
▽……決定數一割五分

經濟學部では經濟科五〇、商學科六五の卒業生を擁す、この方面の志望會社には新聞社關係は東朝、東日、中外、電通聯合、報知等がある、會社關係では依然保險會社がトップを切つて、三井生命、安田生命、東京火災、明治生命等

銀行 ではナショナル・シティ・バンク、三井、三菱等百貨店では松坂屋、白木屋、その他花王石鹸、日本郵船、安宅商會、講談社、東京ステーションホテル、鈴木、加賀屋、瀬戸等があり現在採用されたものはナショナル・シティ・バンク三名白木屋二名、東京朝日新聞、日本郵船、ステーションホテル、安宅商會、明治生命、松坂屋、横濱興木、花王石鹸、松竹興行各一名合計十四名が決定、この外こゝ數日間に確定のものが數名ある

又採用試驗が來月になるため未決定のものがあり、昨年と

比較 しては約三分の二減で、目立つた傾向としては保險會社外の就職志望者が著しく減少現在のところでは一名もない有樣である、これは又昨年と比べて顯著な現象で自由職業のものが増加したことである、が、ともかく就職戰の白熱化しつゝある現在、この勝利者數は全體の約一割半である

學生人事課の觀測によれば、現在約百名余の卒業生の就職希望者を受付けてゐるが、ほとんど大會社の採用試驗は

四月 に施行され、七月頃

文學部
寂としてその聲なし……
中等教員も全く駄目

文學部では大體英文一八、宗教六、史學三、哲學一合計二十九名の新學士を待つてゐるが現在決定者は英文科女學科一名、聖アンデレ・同胞會本部一名で、例年の如く就職率百パーセントの宗教科もまだ確定のものは一名もないがこれは早晩百パーセントの誇りを

繰返 すものと見られるが文學部の唯一の得意先たる中等教員は今年は全然駄目と來てをり、就職座談會の席上でも問題になつた比較的利口な小學校教員よりのうな保りの就職法には相にく本學では一名の志望者もない有樣で經濟學部同樣殆ど內定のものも一、二名はあるにはあるがそれにしても文學部全滅のかたちである例によつて學生人事課の觀測としては現在中等教員は各中等學校においてはあり余るほどあり從つてぞくぞくかん首の狀態でそれになんといつても高師出が、

陰然 たる根を張つて頑張つてゐる今となつてはどうすることも出來なく中等教員はこゝ四五年は全く手のだし樣もないだらう、だから英語教師の需要又四五年は口がなくて困ることだらうと見てゐる

春に叛いて……學園風景

その後の幹部候補生

本年度卒業生中幹部候補生として入營する者は本紙既報の通りであるがその後決定したのは川端清、駿井次郎の二君（共に習志野騎兵十五）もである

福本を憶ふ
大久保信彦

二月の始めの一日、外出さきからおそく歸つて來て、家人に福本の死を傳へられた時は全く異樣の感に打たれた。知人の死んだ時にたれしも浮べるもつとも單純な思ひは、もう此人には二度と逢へないといふ氣持で、それ以上複雜な心の動きといふものは、いかに深く考へた所で、死といふ極限を前にしては、何物もないのだといふ樣な事を書いてゐるある文人の言葉はしみじみと心を打つてくる。

死をめぐつての想ひ出は常に感傷だ、が福本はこんな感傷を排擊するに相違ない。彼は鋭い科學的理論の遂行者であり、唯物論者であると共に篤學なる研究者であつた。歪曲せられざる眞理の追究てふ精神を除却して、徒らな感傷と追憶の低回趣味の中に綴られたる哀悼の言葉を却て憫笑するかも知れない。然し私は矢張り何等かの形でこれをものしたい感情にとらわれてゐる。幸ひに立教新聞の好意によつて、福本をしのび得る機會を得た事を喜ぶ。

◆

彼は私と同期大正十五年度の經濟科の出身であつた。彼は篤學者であり、鋭い批判家でもあつた。本紙に載せられた幾つかの論文や、本學發行の商學研究並に彼の勤務先であつた市政調査會の機關紙に載せられた諸論文にもこれを見ることが出來るし、又彼の研究になる中央卸賣市場組織論の如きは、比較的述作の方面に振はざる學園に氣を吐いたものとして我々に示唆と裨益を與ふる所大なるものがあるを信ずるのである。更に彼の將來の大成を我々に待望せしめたものは、上記の樣な諸條件の外に秀れた語學の才能を有してゐた事だつたと思ふ。彼は性格として華麗なものを求むる氣持に淡白であつたから、在學時代においても英語會話（イングリッシュ・スピーキング・ソサイエティ）に籍を有して會話の中に自己の知識を披瀝することもその才能を示現する事もしはしなかつたがしかし彼が有した語學の特異の才能は、彼を驅つて一層深奧なものへ向はしたものらしい。英語、獨語における讀書力を充實せしめた傍、佛語や最近に至つては余程の熱心さで露語の研究にさへ手を染めてゐたと傳へられてゐた。ギリシャ語さへこれと涉獵して、以前本紙にその語法に關する小論を載せた事があつたと思ふ。

◆

求眞の心とその手段とを具備しつゝも、なほ志を充分に伸べ得ざる憂悶を抱いてはゐたらうけれど、近き將來に何等かの形式で、必ず榮達せらるべきものがあつたらうに、忽焉として朝露の果敢なさに幾多の春秋を殘して逝つた事は實に、長き交友の一人として哀惜にたえない。學窓を出て一六年、自分は任に地方にあつたので在京の彼とは比較的面語の機會に乏しかつたのであつたが、昨年の暮、彼からの呼出しで、陶山と自分と三人で、銀座草川亭の一室にすき燒をつゝきながら、純乎たる學生の時代に歸り、勝手な熱を吹き、越へて正月陶山宅に會し、相互に正月らしい揶揄一二番の應酬に永遠の訣別を告げ樣とは豫想もしなかつた所であつた。

「暗默の死のあいさつ」といふものが、續いて起つた二個の面接の中にあつたのかも知れない。しかし自分の鈍感な性は遂にこれを見出すことが出來ない。未だに福本の死は嚴然たる事實として明確に認識することが出來ない樣な氣がする。

◆

福本の死に對し、自分はいろいろな事がいひ得らるゝ樣でさて筆をとれば、いまだなすべき多くを殘して逝いたいたましさを痛恨するのみである。彼について或ひは、偏執、頑固といふ風な印象を持つ人があるかも知れない。然しそれは彼の全幅をおほうものではない。私自身としても交遊十年を通じ時に見解の相違に、相背いた事一二度ではなかつたと思ふ。然し結局の始終においては、彼が有した友情の極めて濃かなるものを明かに感じてゐる。福本を知れる限りの人が、この拙文によつて彼に關する何かを想ひだしてもらへれば幸である。

春が漸く、日光に、土に、木に凡ゆるものに來やうとするこのころ、學窓に五年を親しみ、社會の生活の中にあつては、相互の生存を確信して思ひ出した樣な一葉の葉書に限りなき懷しみを感じて來た五年に余る、古い親しい友ともう二度と逢ふよすがを持ち得ないと思ふと、華かなその春の日に寂寞の感のひしひしと迫るを覺えて何氣なくすゝる一杯の紅茶のほのかな湯氣さへが、返らぬ十年の知友の持つてゐた色々のものを再度味ひ返させる。（三二・三・十二）

ア同胞會出版部確立

聖アンデレ同胞會では日本本部確立と共に今般ラッシュ教授の熱誠によつて同胞會出版部を設立し、去る二月二十日「聖アンデレ同胞會事典」を出版し、その內容は同胞會支部、同胞會のなすべき事、同胞會々議、聖餐、祈禱及び雜篇、同胞會法規等で三五版、百五十四頁の小冊子である、尚同胞會の機關紙「聖アンデレ・クロッス」をも發行して三十七ヶ國に發送した

教員にも職だと教育學會創立
岡部教授を會長にして

本學卒業後教育界に出で活躍な活動を續け母校のため大いに氣を吐いてゐる三百余名の卒業生や年々巣立ち行く新卒業生がしばしばその進路をはばまれ不利の地位に立つのは一重に母校たる本學內にそれ等を援助し統制する何等の機關がないためであると當局では痛感し學長及び岡部教授の熱心なあつせんによつて去る一月二十一日文部省、府知事、府學務部長、代議士榊原氏等のメッセーヂを受けサロン・セントポールにおいて本學教育學會發會式が擧行せられ同會では岡部教授を教育學會長に推薦し本年度の事業計畫を協議すると共に前記三百余名にステート・メントを發した（寫眞は岡部教授）

續々到着する依賴の書籍
喜んだのは圖書館

既報の如くラッシュ教授のアメリカの知人名士にあてたクリスマスアッピールによつて去る一月二十日から昨日までに本學圖書館に到着した書籍は二十數冊で、これらは米國圖書館協會の選定したものであつて中には得難い書物がある、本學圖書館からの依賴を受けた同協會でも現在それをことごとく所有してゐるのではなく同地の書店を通じて集めてゐるので

續々 到着のはずである、既に到着した書籍は左の通りである

Legnis, E.—Histoire de la littérature anglaise Paris.
Magnus, Laurie—A Dictionary of European Lit.
Neilson & Mester—The chief Elizabethan Pramatists.
Swinburne, A. S.—A life of sh.
Franz, W.—sh. Orammatik.
Quiller-couch, A.—Stories in literature.
Schelling, F. E.—A book of 17th Century Lyries.
Smith, D. N.—Characters from the Histories and Memories of 17th century.
Shairp J. C.—Robert Burns.
Symons. A.—The Romantic Movement in Eng. Poltry.
Walker, H.—The Age of Jennyson.
Lenis, S.—Babbitt, 1922.
Sedmich, A. D.—Ahe little French Girl. 1924.
Hughes, L.—Not Without Laughter.
Finch, T.—Golden age of myth and legent.
Kent, F. R.—Great game of Politics.
Bethum, Baker—Introduction to the Early History of Christian Poetrine.
Temple, W.—Christus neritas.
Kennedy—The Constant Nymph, 1925.
Turgenef—Virgin soil. 1876.
Zora—Nana, 1880.

遞相を迎へ卒業式擧行
來る十九日禮拜堂で

來る十九日午後一時から本學第八回卒業式がチャペルにおいて、高松チャプレン司式の下に行はれ終了後直に大ホールにおいてマキム監督、ラ總理、杉浦學長文・商兩學部長、一般教授出席のもとに證書授與式が行はれる、尚來賓者としてカナダ公使及び昨年不參のため欠席された遞相三土忠造氏の兩氏が出席される

ア同胞會の使者ラ教授又も渡米
去る十日日本巡禮團を迎へに氷川丸で

常に本學と米國チャーチミツションとの間を往復して、本學及び聖ルカ病院の擴張と聖アンデレ同胞會のために奔走してゐるラ教授は去る十日午後三時橫濱解纜の氷川丸で、來る七月日本巡禮の爲來朝する米國聖アンデレ同胞會員百五十余名を迎へる目的で渡米した同教授は巡禮團が八月上旬に歸國するとともに直に日本聖アンデレ本部會館を池袋に設立し、神奈川縣平塚にサンマー・キャムプを開き、出版部の基礎を確めるために資用を募集するためにまた歸國するはずである

本學教授滿蒙視察へ
近日中評議員會で決定

滿蒙問題に刺激されて實業界、教育界、經濟團體、學生等から多くの滿蒙視察團を派遣して研究して居るが本學においても教授を派遣しつぶさに滿蒙の狀勢を探らんとする聲が高くなつて居るがまだ具體化するに至らず近日中に學長を始め各教授によつて教授會が開かれ人選、滯在期間、視察經路、出發期等が決定されるはずである

神學院卒業式は明日擧行

本年度の卒業式もはや日前に迫つたが、それに先だつて神學院の卒業式が明日午前十時より神學院のチャペル內において行はれ、昨年までは本學の卒業式後に行はれてゐたのだが今年は敎會曆の都合上卒業の日をはやめたのである。卒業生は全部で八名で就職先はまだ定まつてゐない

立教中學入學試驗

立教中學校入學志願者の締切は五日をもつて終つたが本年の志願者數は二百七十名でこの內より約百名の生徒に入學を許可するのである、試驗は昨日午前八時より正午までの間に行はれて午後四時に入學者氏名の發表があつた、二、三、四年の編入試驗は三十日三十一日の兩日午前八時より行はれるが締切は二十九日までである

授業料直下はとんだデマ
學校當局弁明す

恐慌の波は益々高まり經濟的完全地帶とされてゐた學園にも波及し授業料の滯納、或は延期願をだして納入を延期する等學生も親元からの送金が思はしくないので四苦八苦の有樣である、その矢先に最近授業料一割直さげを學校當局が自發的に斷行するといふ噂がもち上り、本學會が

探訪 したところ當局でもそのデマに驚き、そんな事を斷行したらとんでもない事になる、といつて、授業料の直さげ說の事實無根なる事を弁明した

神學院で雜誌發行

豫科を卒へて神學院へ入り本館とは手を切つて全くの寮生活に浸りたゞ專ら神學を研究して居る神學院生は多年の懸案であつた神學院研究雜誌を論說、感想、論文、新刊圖書內容紹介、個人消息等で滿載して夏期休暇迄に發刊せんと院生の努力は目ざましいものがある同誌は本學教授、學生、校友及び聖公會役員一般に限り年一回發行の豫定である

時間空間

就職戰線異狀あり……大寒完祭も空吹く風か、卒業生のさても憂うつなこと……

×

授業料滯納で除名になつた學生數名あり、嚴格な當局の仕打は何とかならんのか

×

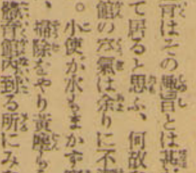
外人教授月給一割引にされた、但し弗でだから大して痛くはないだらう？

×

野球部の渡米可否は果して如何、無理をしないで、よろしく考へてくれ、延期もよからう中止もよからう、寄付もよからう……

×

寄宿舍閉鎖か……今度こそ理想的な研究室にしてくれないか



投稿歡迎
姓名明記のこと但し
匿名隨意

何のための體育館だ

我々に體育學なる特殊な學科がある。之を創設した學校當局の言によれば、「現代の青白き學生に體育により、よき身體と健全なる精神とを與へるためである」との事だが、今我々が體育館でやつて居る體育はその趣旨とは甚だしく相違して居ると思ふ、何故ならば、體育館の空氣は余りに不潔ではないか。小使が水もまかず窓も開けずに、掃除をやり黄塵もうもうとして體育館內到る所にみなぎつて居る、その不潔な室內で我々が一生懸命體操をやる胸一杯新鮮な空氣を吸ひ込むのだ、それが果して體育をやる趣旨に合致するだらうかと疑ひたい、甚だしいむじゆんではないか、小使はそれを合理化して運動が終つた學生が泥靴で入つて來て、泥を落すのだといふ、グランド向きの窓ガラスが三分の一も破壞して居て、風の日はあの砂塵が入つて／＼るのだから自然體育館內がよごれるのだ。體育館は成程立派な建物だ、衞生上の見地から破壞せる窓ガラスを修繕する事について經費難もあるだらうが深甚なる考慮を當局に促す次第である。文部省當局の惱みの種である學生の健康狀態について當局は果して如何なる對策を講じてゐるか？體育館、本館バラックの窓は破れて寒く室內には塵が積つてゐる、我々は貴重なる時間を體育なんかに使用せずともつと／＼當局が他の方法で學生の健康に留意してくれる事を、もの申すのである。【豫一生】

例年よりも志願者激増
結局何が原因か

三月もすでに半ばを過ぎて入學試驗のシーズンとなり都下の各新聞紙に各學校名が盛んに見られる頃になつたが本日迄の締切では本校入學志願者數は文科五十四名、商科百廿八名で例年に比すと非常な激增をみせ、商科の如きはすでに昨年よりも二割以上の增加でこの志願者數の激增ははたして何を物語つてゐるかもちろん本學の存在が社會的にみとめられ我學園の色が濃厚になつたこともさる事ながら昨秋六大學野球リーグ戰に輝かしい

優勝 をかち得た新しい記憶が一部分志願者の腦裡に燒きつけられてゐる樣であつて野球の優勝がどこ迄本年の志願者に影響してゐたかといふことはスポーツ全盛が現在の社會の姿でその學校の發展に密接な關係を有してゐるといふことは疑はれない事實である

四月改卷第一號
英語研究

第二十五卷第一號　內容一斑
・オニールの新戯曲……志賀勝
・歴史の先生（クロンプトン作）……高橋三吉
・アメリカ社會・文藝年表（一八〇〇—一八三〇年）
・アメリカ・ロマンティシズムの母胎……高垣松雄
・英國文藝界月次通信……ブランデン
・詩人ゴオルズワアジの横顔……高橋源次
・十二磅の目つき（バリイ作）……長澤英一郎
・十七世紀に於る英詩の發達（ハアバアト生涯と哲學）……竹友藻風
・初めて議政壇上の人となりて（海外通信）……ヒカリング
・伯林大學に於ける英文學研究（獨逸通信）……石川錬次
・チョヴァンニ・パピィニ（現代の歐洲文藝家）……佐藤東四郎
第二外國語の二講座
ドイツ語講座……石川錬次
フランス語講座……河盛好藏
・チェニティヴ・スゥパラティヴ研究……重見博一
・世界の危機（ロンドン・タイムス）……金生喜造
・一九三〇年の大不況（ジョン・メイナァド・ケインズ）……大原英二
・東大經濟學部選科試驗問題の研究……今泉浦治郎
・教育問題（十分間會話）……レイコック
・フランツ・ポップ（言語學的散歩）……行々子
・謎の一九三二年（リテラリ・ダイヂスト）
エイケン・タイムズ
・醫療費の支拂方法（ノォス・アメリカン）
・警句から見た世の中　・主なる英米の新刊書　・英國作家と佛蘭西小說　・ゾオル・ドゥ・ニュイ　・ブランデンのエッセイズ　・笑話の研究　・多讀と愛讀　・外國文學と自國の文學　・「ホアイトオクス家」物語　・和文英譯「乙」欄の新問題
・最近の米語……相良左
・アメリカ語の檢討……安來佐六
・フオウクロア（偏奇漫筆）……東雨散史
●定價五拾錢（送料一錢半）●
一ケ年前金五圓五十錢（送料共）

●英語・英文學研究鑑賞の最新指針！●

研究社
小英文學叢書

本叢書は英米文學者の特色を簡便にグラスプせしむる多讀本位の短篇叢書。主として英米近代の諸名家の作品を選出し、我が現代英文學者の解說・註釋を添ふ。英文學の鑑賞研究に最もハンディなるもの。

KENKYUSHA
POCKET ENGLISH SERIES

Poe:	PROSE TALES
Hawthorne:	TWICE-TOLD TALES
Chesterton:	THE INNOCENCE OF FATHER BROWN
Stevenson:	THE SUICIDE CLUB
Hardy:	TO PLEASE HIS WIFE & THE SON'S VETO
Stevenson:	MARKHEIM & THE BODY-SNATCHER
Gissing:	A VICTIM OF CIRCUMSTANCES
Lamb:	ESSAYS OF ELIA
Emerson:	REPRESENTATIVE MEN
Carlyle:	SARTOR RESARTUS
Kittredge:	SHAKESPERE
Gissing:	THE PRIVATE PAPERS OF HENRY RYECROFT [Summer]
Grayson:	THE OPEN ROAD & OTHER ESSAYS
Stevenson:	VIRGINIBUS PUERISQUE
Thoreau:	WALDEN
Ellis:	THE NEW SPIRIT
Milne:	IF I MAY
Belloc:	HILLS AND SEA
Strachey:	FLORENCE NIGHTINGALE
	BLAKE'S POEMS
	HARDY'S POEMS
	KEATS'S POEMS
	SWINBURNE'S POEMS
	WHITEMAN'S POEMS
	WORDSWORTH'S POEMS
	LONGFELLOW'S POEMS
	SHELLEY'S LYRICS
Coleridge:	CHRISTABEL
Milton:	PARADISE LOST [Book I]
Milton:	PARADISE LOST [Book II]
Fitzgerald:	RUBAIYAT OF OMAR KHAYYAM
Wilde:	SALOME
Synge:	THE PLAYBOY OF THE WESTERN WORLD
Shaw:	THE MAN OF DESTINY
Barrie:	THE TWELVE POUND LOOK
Barrie:	THE WILL & A WELL-REMEMBERED VOICE
	SELECT LETTERS OF ENGLISH POETS

・四六判・美本・　定價　並製二十五錢・特製六十錢（送料各四錢）
東京麹町富士見町
振替東京二八六〇一
研究社

參考書
文房具
山崎賣店
立教大學構內

大阪聖ヨハネ教會牧師　柳原貞次郎著
最新刊
基督教讀本
四六版　約三百頁　布裝箱入　定價一圓廿錢

信仰篇
第一章　神を識るの途
第二章　父なる神
第三章　イエス・キリスト
第四章　受肉降生（インカーネーション）處女降誕
第五章　キリストの十字架
第六章　キリストの復活
第七章　キリストの昇天
第八章　キリストの再臨と審判
第九章　聖靈
第十章　三位一體
第十一章　キリストの教會
第十二章　聖徒の交通
第十三章　罪と罪の赦免
第十四章　永遠の生命と身體の復活
道德篇
第十五章　罪惡に對する基督者の態度
第十六章　神に對する基督者の義務
第十七章　隣人に對する基督者の義務
禮拜篇
第十八章　祈禱
第十九章　公禱（共同禮拜）
第二十章　主禱大意
聖公會篇
第二十一章　聖公會の由來
第二十二章　聖公會の聖書並に信經
第二十三章　聖公會の聖職
第二十四章　聖公會と聖奠
（附　信徒按手式）

發賣元　東京市麻布區材木町二四　振替東京四一七四〇
聖公會出版社
取扱所　東京府下池袋　聖山莊
全國基督教書店取次販賣
圖書目錄申込次第進呈（賣切の際は直接本社へ）

立教大學御用
メタル　徽章　カツプ　賞牌
川手徽章製作所
東京市淺草區西三筋町一

木炭　石炭　商
佐藤商店
市外池袋一二六八
立教大學正門前通東側
電話大塚(86)三五一九

此の度經營者が日本人になりました
特別勉强致します
どうぞお引立の程を
此の度の特別サービス
お辨當スープ付二十錢
中華御料理
一番
池袋敬正通り
喬の湯わき

春宵一刻値千金！
御卒業諸君の洋々たる前途を御祝福致します
優秀の技最新の型
洋服の注文は是非!!
高島屋洋服店
立大舊前通り

內科　外科　產科　婦人科
院長　醫學博士　伊東常太郎
醫學博士　江守彌次郎
醫學士　瀨戸正雄
池袋病院
（傳染病室完備）
省線　東京池袋驛東口東
市電　大塚辻町下車池袋驛行乘合自動車病院前下車
電話大塚　長一〇五三番　一六七七番

傳統の寄宿舍に閉鎖の命降る

一千余圓の負債から根本的に改革するか

前號既報の如く、寄宿舍設立の目的たるクリスチャン・ゼントルマン養成の理想に向つて改革の叫びを擧げた當局では、その第一段として、去る十二日舍生全部に對して、傳統に絶つた食堂居住者の疾病のために食堂、寄宿舍の徹底的消毒をなすため一時閉鎖するとの理由で本月中に一まず立退きを命じた、これに對し舍生一同試驗最中のこととて、この際慎重なる考慮を舍監に向つて促すとともに早速舍生大會を開いて總長、學長に陳情書を提出したが、當局の腹としてはこの機を逸せずあくまで宗敎的雰圍氣をもつた理想的の寄宿舍とするために、四月の新學期を期して大改革を行ふものと見られてゐる　消息通の探訪する所によると例へば神學生の唱ふ讃美歌をチヤペルにも出席しない隣室の學生が怒鳴る等折角の寄宿舍の氣分を破壞する等が根本的な原因らしく又同時に舍費を滯納する學生が著しく多く現在一千余圓の負債を生じたため經營狀態も苦しくなりつゝあることが原因となつてゐるらしい、尚一部の先輩、學生間には寄宿舍一時閉鎖のこの機會に大學でありながら研究室も持たない本學のために寄宿舍を改造して研究室にしてはとの聲が高い

何も知らないと

津久井舍監は語る

今回の寄宿舍閉鎖にはいろ〳〵と細かい原因もありますけれどもその重なる原因は寄宿舍の經營難と食堂居住者の疾病問題と又多年の懸案だつた寄宿舍設立の目的にかへることが直接の動因となつたものだらうと思ひますが、僕はまだ何の通知も受けてゐません、また寄宿舍をこの新學期から開くかとの問題については、今の所恐らく四月には開く事が出來まいと思ひます、又今後の寄宿舍がどうなるかといふ樣な事は何も考へてをらず唯寄宿舍の一時閉鎖の問題だけで他に僕は何ら知りません

犬養景氣も糠喜び

外人教授の給料値下げ

本學に奉職する外人敎授の給料は總て直接米國聖公會本部より弗によつて支給されて居るものであるが偶々犬養內閣出現と同時に斷行された金輸出再禁止により爲替相場の大暴落は實に今回外人においては一圓五錢の差損を現出して居る結果、これ等諸敎授は頻り「ドル買ひ」にも似た好利を納める事になつた、然しながら沈滯せる米國經濟の影響下に置かれて居る米國聖公會本部ではこの變動に鑑み早速これ等在日諸敎授の給料一割値下げを決定し一月分にこれが實施を見るに至つたので、この不況に獨り思ひ掛けない昇給の喜びはこれ等諸敎授に一瞬のうちに過ぎ去つてしまつたわけである

友を慰さむ慰問品に

一年生の純情

本學々生中のたゞ一人の出征兵士として豫科一年E組の目黒信多郎君を上海に送つた豫科一年E組では、去る六日矢野大尉を始め多數敎職員と共にクラス全員品川驛頭にこれを見送つたが、その後クラス會を開いて、十字砲火の戰線下で夜、晝となく御國のために華々しく奮戰するだらう、同君のために金を集め近く慰問品を送るはずで、これも出征にさく多くの軍國美談と共に學窓に赤くさいた友の優情である

時局を憂慮して渡米延期か

廿日頃決定の野球部

輝く昨秋の優勝を機とし米國遠征を企畫した野球部ではその後着々と渡米準備を進め來月七日横濱出帆の日枝丸で遠征を決行する豫定であつたが、我等をとりまく上海事件が十分にかたづかないので、その遠征をどうするのかと、野球部の部長先輩、選手が去る三日四ミイテングを開き渡米に關して各自意見の交換をしたが結局まとまらず、今日に及んでゐるが、おそくとも本科の試驗の終るのを待つて來る二十日頃までには部長、先輩、選手等集まつて渡米か中止か延期かについて最後の決定を見る筈であるが、もし渡米する事が出來ないといつたところで決して渡米を中止するものではなく、ある時期まで無期延期されるものである、それについて學校當局では スポツはあくまでスポーツであつて特にその渡米が彼地の學校との交歡を主とし、國際ゲームを通じて親善を計る點において眞にスポーツ使節としての價値あるものであるとの聲が高く、米國遠征の可否は今更論ずるまでもなく、今のところ渡米遠征は悲觀的な問題であるといつてゐる

久保田部長談

僕としてはあくまで選手諸君の意見を尊重してゐるのであるからもし選手諸君の方で是非とも遠征を決行しようと或は延期しようといつた場合に、折角選手自身が血と涙ににじんで作つたこの米國遠征といふ機會を單なる感情によつて踏みにじられたくないので、どちらでも選手諸君のいいようにとりはからう積りである、と同時に、選手諸君のうへに起る問題については僕は全責任を負ふ

部室を出る

輝ける我等の先輩

學會五人男

洋々たる彼等の前途

◇

總選擧の結果政友會が絶對多數だから犬養景氣が襲りだすなんて樂はとんと夢想にも等しい事かも知れない。戰爭だ！滿洲だ！出征だ！上海だ！とジヤン〳〵騷いでゐる所へ飛びだしたピストル事件……さて〳〵これからどれだけピストルが飛ぶかわからない、とにかく物騷な世の中になつたもんだ、こんなところへ學會からも今度五名の輝ける先輩を送る事になつてゐる、これまでならば記者がこの紹介をものする頃には就職も定まつて朗らかな彼等を見られるのだが、今年の我等の先輩達は何と憂うつな事よ……あまり憂うつな事ばかり書くと誰かに叱られそうだから、さてこれから、簡單に五君を紹介する事にする

涵ちゃん高橋君

今日の學會の總務を一手に引き受けて斷然その敏腕を振つた御仁で忘れ得ぬ一人である、時たま頭へくる事もくるが、一歩戶外に出た次の瞬間には心氣一轉……「河上涵〳〵」と得意の長唄である。そんな唄を歌ふ彼高橋君の心中は慨慨してゐるのかも知れない、そんな時彼氏の愛する三味線を下宿で聽いた事のある人は誰でも「成程涵ちやんだ」とうなづかせる、就職はまだ海のものとも山のものとも定まらないが何でも一流の廣告取扱店を三つ四つも口かけてあるので定まる時は一度にどいつもこいつも定まるだらう……就職試驗も面白くなつた」と英雄閑日月ありの形だ

妻さん山崎君

誰が何といつたつて學會唯一の能辯家だ、關西なまりの口調で滔々と學友會問題を論ずるあたりは、「成程あの手で丸めこんだんだなア」と思はせる、彼氏の辯説の特徴ともいふべきものは、あの香具師的なところだといつても決して惡くいつてゐるのではない、事程左樣に學會に雄辯家が居ないといふ事にもなるのだ、就職は關西まで落ちのびたならそれこそ思ふところへ入れるのだが、やはり住みなれはお江戶で奮鬪してゐる

エビス中村君

およそ學會員にして、中村君の怒つた顏を見た事はない。彼氏も「もしおれの眞實に怒つた顏を見たといふ者があつたら何でもオゴルよ」とまでいつてゐる位だ、名編輯局長として、かつては泰東時報の支那問題を論じて居たのである、卒業論文も支那問題だとか聞く、就職は月給金七十圓也で大概決定したとか……エビスさんは成程福の神だ

パンちゃん大島君

パンといつても、東京パンのパンではない。パンクチユアールのパンだ、大島君といへば、その仕事のパンクチユアールな事で自他共にゆるしてゐる點に新聞學會の仕事ばかりではない、彼氏の職業に對しても、實にパンクチユアールなのである、中村君に代るまで編輯局長の職にあつたのであるが個人的な事情のためやめなければならなくされたのであつた、何といつたつて幸福な一人で、既に卒業試驗から東京朝日の入社試驗に合格して、我が學會から又もや新聞界の輝ける王座へ一人を送つたのである

インちゃん窪寺君

元來インテリのインだつたのをなぜか彼氏自ら改めた。窪寺君を知つてゐる誰も彼氏を侮識だとは思つてゐない何にしてもインちやんといはれる位に學會ではインテリの稱號を充分に備へて居る人であるところが最近就職難を走らせたといふデマが飛んで彼氏辯解して「戰爭で、またハルビン位までしか行つてないよ」といつてゐる、志願先は斷然ヂヤーナリストだと意氣込んでゐる

◇

實際今度の先輩位嵐の中で苦しんだ先輩はないだらう、それだけに又彼等の結束も固いのである、生きるべき方法論をガツチリと把握してゐる彼等の前途や、また輝かしいものである

淚のサインボール

少年の死に此の純情

子を偲ぶ母の一念

去る六日日比谷公會堂で行はれた野球部渡米送別の夕べに、一人の立敎ファンの少年の死をめぐつて子を思ふ母と野球部選手との涙ぐましい物語りがある。その少年こそは市外大井町のある一婦人の一人息子として中學三年に在學中のところ病性の病氣のために床についていたなり、すきな野球も見られずわずかにラヂオによる野球放送に病床を慰められていたが、藥石の効もなく昨年三月病床に斃れてから一年、思ひ出の淚も新しくめぐり來た一周忌を迎へて、母なればこそ持つ心は同じく今はなき子の靈前にサインボールを捧げ、せめて立敎ファンだつた亡き子の靈を慰めたいと、本學學生を介し野球部選手にサインを申し込んだ一婦人のために、關口主將を始め各選手も心よくこれをいれ、しばし淚に顏をくもらせて哀悼のサインをした（寫眞その夜のサインボール）

鬼が出るか「蛇が出るか」

新人獲得に大童の各部

春のスポーツシーズンを迎へて送りだされた選手の後釜に、いかにして優秀なる中學校の選手を迎へるかに今の所各運動部ともに大童であるが、殊に新しく、至難して年ですむ專門學校の方へ進む樣にも尻尾のない大學よりも年限も三なつたので各運動部の惱み大きく、昨秋の優勝で有能選手が多く集まるだらうと思はれた野球部でさへ今のところ四、五名に過ぎないといふ有樣で、その他一部でも可成り有望な中學界の花形がかくるらしいがこれも他大學との關係上今の所發表をさしひかへてゐる

三勇士へ感激の手向

肉彈……身を犧牲に敵の鐵條網を爆破した三勇士の壯烈な戰死は日刊紙上に花々しく報導されこれに感激した本學豫科二年C組の有志は早速クラス會を開いて、せめて三勇士の遺族を慰め勇士の英靈に手向けんと一金八圓也を集め朝日新聞社の手を通して送つたが、これも學窓が生んだ戰時風景の一つだらう

馬術部

來る七日全國學生大會出場

馬術部では來る四月七日習志野練兵場で開かれる全國學生乘馬大會に出場するために、試驗の終了するとともに近衞輜重隊、及び士官學校で猛練習を積んだ上、優勝を目ざし伊東、成田、春田、鈴木、馬崎の五君を同大會に送るはずで豫科生は早くも練習を始めてゐる

戰爭！此の躍進

山田教授淚の出征

愛兒に別れの接吻を殘して滿洲へ

全世界の耳目を集め殺氣吹きまくる滿洲荒野において血と淚と幾多の犧牲を拂つて轉戰又轉戰を續けてゐた日支間の紛糾もこゝに幾分の落ちつきを示すに至りこの事件突發に際し都下各大學から多數の出征者を出したが本學からもフランス語の山田教授が豫備役步兵少尉で出征した同教授は最近愛兒をもうけ本學においてはフランス語を擔當し幸福な生活を送つて來たが去月二十四日の明召集令に接するや大あわてで軍服、軍帽、双眼鏡等を買いれ正午より敎授一同は山田教授のために送別會を開き心から同教授の祝福を祈つた尚先輩から新井、內田の二氏本學生からは神學院の濱本君豫科一年E組の目黑信多郎君が召集された

時勢が生んだか此の新內職

受驗料は五圓から十圓

苦學といつても、せちからいこの頃就職難から卒業となつて、正に四苦八苦の學生層へ下る驗料、試驗代理業がそれだ、報酬は五圓から十圓まで、ペンを片手にインテリならばいらずに出來るぼろいまうけだけに本學學生の內にも神田の××大學を始めとして都下各大學の試驗を受けに行く者が多く、試驗料をうばはれ、試驗料も餘り人が多くて金にならない若學生のかせぎ場だけに一日に二、三校、受驗してまわるのもゐる、其他自對策の爲學生、巡査試驗所入所試驗等に活躍する學生もゐるといふ有樣でこの內職も時勢が生んだものだらう

先輩福本氏湯河原で病死す

死因は極度の神經衰弱

かつて本紙に「第六十議會をめぐる政黨鬪爭」及「惡の論理」の記事を寄せて居た福本英男氏は過日湯河原溫泉の某旅館において病死したが氏の死因は過度の勉強と病弱のためらしい。

◆

氏は大正十五年經濟科卒業後直に東京市政調査會へ勤めてゐたが間もなく結婚し專ら著述に熱中し、氏の將來は大いに囑望されてゐたのではあるが仕事の中途において死を遂げたことは實に惜しむべき事である。

自轉車で東海道五十三次

永井君の快擧

豫科三年の永井君はこの春休みを利用して、自轉車にて東海道をひと走りに、去る十三日朝を日本橋にとつて大阪まで約二十日間位の豫定で行く積りであると同君は朗らかに語つて出發した

大島君東朝入社

本年度卒業の本學新聞學會前編輯局長大島英雄君は入社志願者千六百名の東京朝日新聞社へ試驗の結果見事入社決定し四月一日より出社のはずである

立教中學の卒業式

去る五日に

本月五日午後二時より第一高等學校林校長の來臨を迎へ本年度の卒業式は盛大に行はれた、本年の卒業生は全部で七十五名で卒業生中本大學への入學志望者は今の所ないが四年修了者中には約二十五名ありまだ〳〵增加する見込である 卒業式に先だち禮拜式が四日午後一時から同校で行はれた

ラ式廿五日練習開始

去月二十七日の對慶應戰を最後に總決算を終つたラグビー部は來る二十五日より再び本學グランドで不振に終つた昨シーズンの戰績を取り戻すべく練習を始める

新學期開始

新學期授業開始は四月十六日からで、始業時間は八時である、尚入學試驗は四月六、七の兩日である

史學會の定期講演會

去月十五日飯島氏を迎へて

史學科では去月十五日の定期講演に學習院教授飯島氏を招聘して「古代における支那及び西邪の天文學」について學究的な立場から氏のうん蓄を傾け、つゞいて二十四日には史學同好會が開いた研究會の席上に岡田太郎教授は「民族學の研究方法」について講演する

廣告研究會の新學

廣告、販賣、經營術等の比較的實際方面の研究を續けてゐる販賣廣告研究會では昨秋以來座談會、公開講演會等によつて活躍してゐたが新學期着々正門立敎堂脇のほていや寄合所の跡下を借り受け洋服店を開き積極的に廣告販賣技術取得の第一步を踏み出すことになつた、すでに店ぽの借受け及び洋服職工三人も雇ひいれていよ〳〵新學期のくるのを待つてゐる、なほ同會はこの外書籍等も發行する計畫があるらしい

聖ア巡禮團のために旅行案內記發行

七十一團來朝する米國聖アンデレ同胞會員の日本巡禮團を迎へて、我國の名所舊蹟を外人にわかり易く紹介する目的で、來朝の氏名、來朝中のプログラムを詰め、本學、舍監等の美麗なる寫眞三十數葉をはさんだ日本巡禮案內記を先月末ジヤパンツーリストビユローで發行した

講演を行つた

自由槍

▼學長と日和　立敎六年間に少くとも一回や二回は學長室での學長から「馬鹿野郎！」と一かつ見舞はれて頭のテツペンから爪先まで冷汗三斗に及ぶとか……故に學長訪問には夢々學長ご氣嫌の至極麗しき日を選ぶことを忘れざるべからざるを以て訪問の秘けつとし各部ではこれを信條として代々傳へてゐるが、これは或イト、ヽヽヽ、そこ〳〵かくの一學生がこれには何か科學的根據があるに違ひないと看破し、一念發起して爾來「學長のご氣嫌」について研究にぼつ〳〵らし始め、この頃やつとそのいはゆる科學的根據なるものがわかつたそうだ。それによれば「學長のご氣嫌」は最大原因として天氣の——日和と大なる有機的關係があるといふ。で、彼のさく〳〵者彼の最後のテストとして新春の或うらゝかなる午後學長を訪問した、彼の豫期通りいとも麗しく學長は「君何を立つてるのだ、遠慮せずに早くかけ給へ」との上氣嫌だ。彼氏も至極滿足だつた、彼が的中したからだ。次の日もまたうらゝかなる午後前日と全く同じ狀態の下に學長を訪れて氣をきかせたつもりでムダンでイスにかけた。ところが雷鳴一聲「馬鹿野郎！」彼の學生仰天してドドドツチがほんとですか？」

廣告

SPECIAL
Service
紅茶 ◆ コーヒー ◆ ケーキ付
SALON ALPHA

落着いた氣分の好い喫茶寮……
（ベビー圖書文庫設置）
ゼヒドウゾ……
★毎土曜日特別サービス有り★
喫茶寮
小鳩
池袋仲町南入

毎年流行を先驅する
ヨシノヤの靴
ヨシノヤ靴店
銀座松坂屋前

本年より新らたに
喫茶横丁に
開店致しました
どうぞ御來店の程を
おでん各種ございます
喜久乃（ミユキ寫眞館隣）

立大の參考書及び
教科書洋書は
高價買入をモットーとする
武藏野書店へ

喫茶
1932年生れ
春は逸やく新裝モンパリより
モンパリ
池袋喫茶横丁

ふるほん屋
古本・和本・洋本
しやれ本・ちん本・等々
東京・池袋一〇八六
赤春堂

馬木
池袋の喫茶横町

齒磨專門の會社で出來る
ライオン齒磨
チユーブ入
三拾有餘年の經驗と專門的研究とを以て現代齒科醫學の理想を實現した齒磨です。
この品質の優秀性は、絶對に他の追隨を許さないもので御座います。
ライオン齒磨本舖　株式會社　小林商店

誠信確
實用實
松坂屋質店
池袋一〇八八
（白馬撞球場前）

靴！靴！靴！
靴の御用は是非!!
加藤靴店
池袋豐島師範表通
電話大塚(86)二九三八番

立大生諸君の
御食事なら
どうぞ……
むさしの屋で
おでん　立大前通り

定價表
天丼 十五錢
卵子丼 十五錢
親子丼 二十錢
カツ丼 十五錢
開化丼 二十錢
今度おでん以外に左のものを始めました どうぞ御試食下さい
あけぼの
立大前通り

懷しい思ひ出の語らひ
春に晴やく青春の集ひ
喫茶食事
ミカサ
喫茶横町

純喫茶
一度お出で下さいませ
コマドリ
（立大喫茶横通り）

支那料理
銘酒 褒紋正宗
支那酒各種
菊水
豐島師範際
電大塚三〇八五

京橋
產婦人科
醫學博士 保坂孝雄
電京橋(56)三六六
京橋區木挽町一ノ一四
グランドキネマ後
省線 有樂町驛下車
市電 銀座二丁目

お晝食は
ゼヒ
支那料理
三樂にて
毎日御獻立を取替へておつとめ致して居ります
新味
肉カレー燒メシ—¥.25
肉カレーソバ—¥.20

歸省には
是非 立大マーク入りの
御土産と御仕度を
ペナントは御注文通りに美麗に早速作ります
喫茶
文房具
立教堂

美津濃の
靴と
文具

御食と喫茶は
是非!!
おなじみのセント・ポールへ
午前十時より午後一時迄はランチの御時間です
セント・ポール
立大前通り

立大の
參考書
教科書
斷然高價に
買受けます
久榮堂書店
立大前
【電】大塚一八四四呼出

宴會 喫茶 和食 洋食
米國デパート式大食堂
近代的設備實質的代表食堂
大小宴會御簡單に……
池袋驛東口前　ミヤマ食堂　電話大塚(86)1678